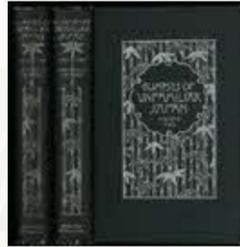


小泉八雲の代表作『知られぬ日本の面影』(1894年)は山陰を描いた紀行文です。これを読み、八雲の五感力とオープン・マインドを意識して現代の山陰を歩くと、八雲が見つめた日本の姿が見えてきます。

八雲の精神は、国連が提唱するSDGsの目標とも結びつきます。

山陰を歩いて、八雲のまなざしを注げば、これからの持続可能な社会をつくるためのヒントを見つけることができるでしょう。

『知られぬ日本の面影』 1894年 ホートン・ミフリン社



小泉八雲は、日本での出来事を新鮮な驚きに満ちた目で観察し、明治の山陰とその周辺の風物、そこに住む人々の姿を躍動感あふれるみずみずしい文体で鮮やかに描きました。また、民衆の日常生活に分け入り、土地に伝わる伝承や怪談などを随所に織り込んでいることが、作品の大きな魅力となっています。西洋優位の視点からではなく、日本人の心の内奥までくみとる鋭い直観力で洞察を行いました。

### 小泉八雲のオープン・マインド

小泉八雲は異なる人種や文化に対し、公平で愛のあるまなざし(「オープン・マインド」)をもって接していました。それは、八雲自身が、父母の離婚、左目の失明、どん底の暮らし、感染症で生死をさまようなど、多くの困難を経験し、また地球半周以上を旅してさまざまな人々や文化にふれる中で、育まれたものです。

### 小泉八雲と山陰、持続可能な未来

日本人は長い歴史の中でずっと自然と共生してきました。小泉八雲はこの山陰の地で、自然を敬う日本人の精神に共感します。たとえば、大きな樹木には荒神というカミが宿ると考え、その木を大切にまつり、古くなった人形もそこへ捧げる。そんな出雲地方の美しい習慣を絶賛し、世界に紹介しました。また、熊本時代の講演では、日本の将来にとってもっとも大切なことは、「自然との共生を忘れないことと、物の豊かさを求めすぎず、シンプルな生き方を続けること」だと説きました。それが、八雲が考える日本の未来のあるべき姿です。

地域に根差しつつも、グローバルに考える八雲のまなざし。持続可能な未来を作っていく、ヒントになりそうです。



#### ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)

Lafcadio Hearn 1850-1904

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、1850年にアイルランド人の父、ギリシャ人の母との間に、ギリシャで生まれました。2歳でアイルランドに移りましたが、4歳の時に母はギリシャに帰ってしまいました。その後、両親は離婚し、孤独な少年時代を過ごしました。16歳の時、遊戯中に左目を失明。19歳の時にアメリカに渡り、新聞記者として活躍しました。

1890年に、取材のために日本にやってきます。その後、島根県尋常中学校(今の高校)の英語の先生として、松江に赴任しました。松江や山陰の各地をめぐり、日本の伝統文化のすばらしさに感激し、また、尋常中学校の教頭・西田千太郎やのちの妻となる小泉セツなどとの出会いもあり、松江が大変気に入りました。しかし、冬の寒さと大雪になじむことができず、1年3カ月で松江を去り、熊本・神戸・東京と移り住みました。熊本の第五高等学校(今の熊本大学)、帝国大学文学部(今の東京大学)、早稲田大学で英文学を教えるとともに、日本人や日本の文化のすばらしさを多くの作品で外国に紹介しました。

1904年、心臓発作のため54歳でこの世を去りました。

生涯で地球半周を超える旅をした八雲は、異なる文化を受け入れ、欧米や人間中心ではない、オープン・マインドなまなざしで、自然や文化を描いた作家でした。

### 学習素材

#### 小泉凡さんによる「小泉八雲に学ぶSDGs短編映像」

小泉凡さんの解説をきいて、八雲ゆかりの地をめぐってみよう。

#### 1 『導入編』小泉八雲記念館 オンラインツアー(約20分)



#### 2 小泉八雲と 怪談(約6分)



#### 3 小泉八雲と 信仰心(約6分)



#### 4 小泉八雲と 魂と海(約6分)



#### 5 伝統工芸と 音楽(約6分)



発行日 2023年3月31日

発行 全国街道交流会議第13回全国大会「山陰大会」実行委員会

事務局 松江市文化スポーツ部文化財課 Tel.0852-55-5956

協力 小泉八雲記念館、中海・宍道湖・大山園域市長会

音楽 全国街道交流会議第13回全国大会「山陰大会」テーマソング  
「ANCIENT ROADS(古代の道)」

作曲・演奏 山本恭司



Lafcadio Hearn



SANIN MAP

小泉八雲のゆかりの地

# 山陰 マップ



小泉八雲のまなざしをヒントに、  
山陰各地での出会いや体験を通して、  
SDGs達成のために、  
自分は何ができるのかを  
考えることができる人になろう



- 1 木綿街道** (島根県出雲市) 木綿を中心に物資が集まる在郷の面影を残す町
- 2 青石畳通り** (島根県松江市美保関町) 北前船で栄えた石畳の港町
- 3 境往来** (鳥取県米子市) 江戸時代の町割りの残る町
- 4 琴ノ浦歴史街道** (鳥取県東伯郡琴浦町) 海岸沿いに続く穏やかな港町

古事記・日本書紀で語られる神話の舞台となった地域。「神仏の通ひ道ルート」と「水辺ルート」からなる。

…神仏の通ひ道ルート  
…水辺ルート



小泉八雲ゆかりの地をめぐってみよう

# 山陰 MAP

**1 木綿街道**  
昔からの風情あふれる町並みが残り、古くから続く醤油やお酒、生姜糖の製法を学べる。  
出雲市平田町 841  
Tel.0853-62-2631 / 木綿街道振興会  
体験内容 生姜糖を知る、酒蔵見学、利き酒体験、醤油蔵見学、機織体験、まち歩き、文化財見学、平田一式飾り作りほか  
八雲作品 「食卓」「へるん今昔」

**5 日御碕**  
八雲が五感でとらえた風土と文化は、ジオパークの代表的な地球遺産と重なっている。  
出雲市大社町日御碕 1089-37  
Tel.0853-54-5400  
日御碕ビジターセンター  
体験内容 ジオパークの体験、アクティビティ、ガイド  
八雲作品 「日御碕」「知られぬ日本の面影」

**6 日御碕神社**  
八雲は、お宮のきらびやかさに驚き、神社の一族の哀しく恐ろしい秘話を紹介している。  
出雲市大社町日御碕 455  
Tel.0853-54-5261  
体験内容 参拝  
八雲作品 「日御碕」「知られぬ日本の面影」

**7 稲佐の浜**  
八雲は、古事記に登場する神聖な場所として紹介している。  
出雲市大社町杵築北稲佐  
Tel.0853-53-2298  
神門通り観光案内所  
体験内容 見学  
八雲作品 「杵築—日本最古の神社」「知られぬ日本の面影」

**8 出雲大社**  
八雲は、1890年に出雲大社に参拝し外国人として初めて昇殿を許された。  
出雲市大社町杵築東 195  
Tel.0853-53-3100 / 出雲大社社務所  
体験内容 参拝  
八雲作品 「杵築—日本最古の神社」「杵築雑記」「日御碕」「知られぬ日本の面影」

**9 一畑薬師**  
目のお薬師様として知られ、八雲は目を患う女中を連れて参詣し、自らも目の回復を祈った。  
出雲市小境町 803  
Tel.0853-67-0111  
体験内容 参拝、個人坐禅60分、個人写経60分、お砂踏み体験、団体の研修、団体の坐禅、団体の食事作法  
八雲作品 「杵築—日本最古の神社」「知られぬ日本の面影」

**10 小泉八雲記念館**  
八雲の直筆原稿や愛用品の展示があり、生涯を知ることができる。  
松江市奥谷町 322  
Tel.0852-21-2147  
体験内容 見学、各種イベント  
八雲作品 2階のライブラリーで八雲作品を読むことができる

**11 松江城、ギリギリ井戸**  
八雲は、天守閣はまるで大きな怪物を寄せ集めて作った龍と表現し松江城の不気味な伝説を紹介している。  
松江市中原町 234  
Tel.0852-22-1468  
体験内容 登閣  
八雲作品 「神々の国の首都」「知られぬ日本の面影」

**12 城山稲荷神社**  
八雲が良く立ち寄った神社。奉納されている2千以上の石狐に興味を持っている。  
松江市殿町 477  
Tel.0852-21-1389  
体験内容 参拝  
八雲作品 「神々の国の首都」「知られぬ日本の面影」

**13 普門院**  
禁忌の「杜若」を誂って子どもを鬼に殺された侍の話である怪談「小豆磨き橋」の舞台。  
松江市北田町 27  
Tel.0852-21-1095  
体験内容 拝観、不味かゆかりの茶室「観月庵」拝観、お抹茶  
八雲作品 「神々の国の首都」「知られぬ日本の面影」

**14 月照寺**  
境内にある大亀が、夜な夜な隣の蓮池に飛び込み市中を暴れまわった伝説の舞台。  
松江市外中原町 179  
Tel.0852-21-6056  
体験内容 拝観、呈茶  
八雲作品 「杵築雑記」「知られぬ日本の面影」

**15 大雄寺**  
身ごもったまま葬られた母が墓中で出産し子育てをする話「胎を買う女」の舞台。  
松江市中原町 234  
Tel.0852-22-1468  
体験内容 参拝  
八雲作品 「神々の国の首都」「知られぬ日本の面影」

**16 佐太神社**  
八雲は佐太神社の神在祭を体験し、日本の神道の意味と出雲の信仰を学ぶ。  
松江市鹿島町佐陀宮内 73  
Tel.0852-82-0668  
体験内容 参拝、御祈念  
八雲作品 「杵築—日本最古の神社」「知られぬ日本の面影」

**17 加賀の潜戸**  
死んだ子供の幽霊が石を積みに来る潜戸で、八雲は海の世界と死者の世界のつながりを感じた。  
松江市島根町加賀 6120-14  
Tel.0852-85-9111 / 加賀潜戸遊覧船  
体験内容 潜戸遊覧  
八雲作品 「潜戸—子どもの魂の岩屋」「知られぬ日本の面影」

**18 小泉八雲旧居**  
八雲が5カ月暮らした武家屋敷。小さな庭園があり八雲は大変好んだ。国指定文化財。  
松江市北堀町 315  
Tel.0852-23-0714  
体験内容 拝観  
八雲作品 「日本の庭にて」「知られぬ日本の面影」

**19 八重垣神社**  
多くの若い男女が縁結びや愛を願って訪れ、お札やお守りの効能も、八雲は詳しく紹介している。  
松江市佐草町 227  
Tel.0852-21-1148  
体験内容 参拝、御祈禱  
八雲作品 「八重垣神社」「知られぬ日本の面影」

**20 神魂神社**  
八雲は西田千太郎と一緒に訪れ、この神社の火鑽の儀式や聖なる鳥を紹介している。  
松江市中庭町 563  
体験内容 参拝  
八雲作品 「八重垣神社」「知られぬ日本の面影」

**21 美保関**  
海が好き八雲はこの港町を好み、海水浴をして楽しんだ。  
松江市美保関町美保関 661  
Tel.0852-73-9001  
松江観光協会美保関町支部  
体験内容 ガイド付きまち歩き、美保神社体験、あごすくい体験、ジオクルージング、SUP体験 等  
八雲作品 「美保関にて」「知られぬ日本の面影」

**22 清水寺**  
明治24年に、八雲は西田千太郎と一緒に汽船と人力車で清水寺へ行き、三重塔を観る。  
安来市清水町 528  
Tel.0854-22-2151  
体験内容 参拝、祈禱、座禅、写経、精進料理  
八雲作品 「出雲への旅日記」「ラフカディオ・ハーン著作集 15」

**23 雲樹寺**  
明治24年に、八雲は西田千太郎と一緒に雲樹寺へ行き、人力車で松江に帰る。  
安来市清井町 281  
Tel.0854-22-2875  
体験内容 参拝  
八雲作品 「出雲への旅日記」「ラフカディオ・ハーン著作集 15」

**24 広瀬紺センター**  
青いのれんや青い着物姿の日本の印象を、日本を初めて訪れた八雲は小さな妖精の国のよう表現している。  
安来市広瀬町町帳 775-1  
Tel.0858-58-2388  
体験内容 広瀬紺伝習所見学、藍染体験、物産コーナー、そばうどん処  
八雲作品 「東洋の第一日目」「知られぬ日本の面影」

**25 安来節・どじょうすくい踊り**  
出雲を再訪した際の日記で、漁師が唄った安来節を、松江で何度も聞いたと紹介している。  
安来市古川町 467-5  
Tel.0854-28-6788  
体験内容 どじょうすくい踊り体験、銭太鼓体験  
八雲作品 「出雲への旅日記」「ラフカディオ・ハーン著作集 15」

**26 水木しげる記念館**  
八雲と同じく目に見えないものの存在を大事にした漫画家水木しげるさんの人生と作品、妖怪の世界を紹介している。  
境港市本町5番地  
Tel.0859-42-2171  
体験内容 【休館中】2024年4月リニューアルオープン予定  
八雲作品 「夢魔の感触」「影」

**27 正福寺**  
水木しげるさんは、正福寺の地獄極楽図を見て、のんのんばあの語る「目に見えない別の世界」のことを信じた。  
境港市中野町 5015  
Tel.0859-42-3834  
体験内容 参拝、地獄極楽図拝観  
八雲作品 「夢魔の感触」「影」

**28 米子加茂川地蔵めぐり**  
牛や馬の精霊のために祈る人々の心のやさしさに八雲は喜びを覚えた。  
米子市灘町1丁目 19  
Tel.0859-21-3007  
米子まちなか観光案内所  
体験内容 まち歩き、和文体験、加茂川・中海遊覧船  
八雲作品 「地蔵」「盆踊り」「知られぬ日本の面影」

**29 花見湯墓地**  
日本最大級の自然発生墓地。約2万基の墓地群に八雲は驚き、世の無常を思った。  
東伯郡琴浦町赤崎  
Tel.0858-52-1713  
琴浦町役場商工観光課  
八雲作品 「日本海に沿って」「知られぬ日本の面影」

**30 旧中井旅館**  
八雲とセツが新婚旅行で訪れ、とっても気に入ったという宿。  
東伯郡琴浦町八橋 1398  
Tel.0858-52-1713  
琴浦町役場商工観光課  
体験内容 見学、琵琶演奏  
八雲作品 「日本海に沿って」「知られぬ日本の面影」

**31 妙元寺 盆踊り**  
曹洞宗の寺院。この境内で八雲は日本の盆踊りを初めて見たとされている。  
西伯郡大山町下市 56  
Tel.0858-58-2388  
妙元寺  
体験内容 参拝  
八雲作品 「盆踊り」「知られぬ日本の面影」

**32 大山**  
人々の暮らしの中にある神々しい大山を印象的に描いた。  
八雲作品 「神々の国の首都」「知られぬ日本の面影」

**33 龍王滝**  
この滝に赤子を連れて行ったら首をもぎ取られたという恐ろしい「幽霊滝伝説」の舞台。  
日野郡日野町中菅(滝山公園内)  
Tel.0859-72-2101  
日野町役場産業振興課  
八雲作品 「幽霊滝の伝説」「骨董」